

クラス番号	628	担当教員名	野口定久
テーマ	地域福祉の社会構想学－若者と地域の未来を見据えて		
著書・論文 研究課題等	著書：『ゼミナール 地域福祉学』（中央法規，2018）／『人口減少時代の地域福祉』（ミネルヴァ書房，2016）／野口定久編集代表『ソーシャルワーク事例研究の理論と実際－個別援助から地域包括ケアシステムの構築へ』（中央法規，2014年）／野口定久・外山義・武川正吾『居住福祉学』（有斐閣，2011）／『対論 社会福祉学 第3巻 社会福祉運営』（中央法規出版，2012）／『地域福祉論－政策・実践・技術の体系』（ミネルヴァ書房，2008）／『自治体の地域福祉戦略』（学陽書房，2007） 研究課題：地域福祉の計画とマネジメント		

ゼミナール概要

キーワード：地域福祉、生活保障モデル、地域包括ケアシステム、コミュニティ・ソーシャルワーク

目的、内容、方法等：地域コミュニティにおいて社会資源（フォーマルなサービス・制度、住民活動等）の把握、ニーズの発見、問題解決、政策化・組織化、計画化等一連の地域マネジメントとその援助プロセス、技術を包括的に修得することをめざします。日本社会では、超高齢・少子化・人口減少社会、雇用情勢の悪化などによる貧困と格差の拡大、社会的排除、地方の衰退、家族・地域社会の変容、大災害等による新しい福祉問題が噴出しています。地方自治体の財政危機、医療・年金制度や福祉制度の綻び等政策環境の変化の中で、現代の福祉問題の多くがローカリティで生起する諸問題の解決の「場」としての地域コミュニティ、そしてその問題解決のための地域福祉の理論と実践に熱い期待が向けられています。

これからの超高齢少子人口減少社会を支える若者と地域の未来を見据えた地域福祉の政策と実践、地域再生計画、居住福祉のまちづくり事例、コミュニティケア・小規模多機能施設、家族やジェンダー等の対象テーマをめぐって地域マネジメントの理論・政策・実践・技術を体系的に学びます。

ゼミ活動では、実際にある地域を設定して現場主義の調査活動、地域福祉計画等や地域包括ケアの实地研究（フィールドワーク）を行います。2年間のゼミ活動を通じて、現場で通用する地域福祉実践や政策・まちづくり、地域包括ケアシステムを視野に入れた個々人の地域生活支援に役立つコミュニティ・ソーシャルワークの理論と手法を習得してもらいます。ゼミ生の就職進路指導も、その都度行います。

授業計画：ゼミ運営の年次計画としては、3年次の前期にテキストを中心に上記の研究課題の背景や今日の地域福祉の動向と体系を概観します。そして前期の学習成果をふまえ、後期には、ゼミで取り組む調査研究課題および調査地（フィールド）を選定して、実際に調査の項目等を設計し、ヒアリング調査法等を用いて調査を実施します。そして調査結果の報告書作成に取り掛かります。4年次後期の10月末日までにゼミ論を作成します。そして卒論作成後は、社会福祉士国家試験に集中的に取り組んでもらいます。ゼミの中で、国試対策30年間の実績に基づく「このとおりやれば、必ず受かる」国試の秘策を授けます。

ゼミ生の進路・就職：私のゼミには、就職や進路希望との関連で選択してください。最近のゼミ生の就職先は、地方自治体や社会福祉協議会、病院や施設のソーシャルワーカー、地域包括支援センター、福祉関連の民間企業等幅広い分野に就職し、活躍しております。

担当教員からのメッセージ



私のゼミでは、フィールドワークを通じて、現場から学び、ゼミのチームワークを大切にし、腹心の友をつくりましょう。現場主義を貫くために、何よりも体力と好奇心が必要です。ゼミ希望者は、エントリーシート（ゼミへの質問・要望欄）の中で大いに自己アピールをして下さい。私の趣味は、歴史探訪の旅です。いまは、お城や石垣の探索にはまっています。